

ノ上同日紙放セリ
右及申(通)報候也

別記

念書

東京モスリン紡織株式會社總工場對従業員ノ労働紛議ハ本日調停者ノ
斡旋ニヨリ左記条件ヲ以テ圓滿解決セリ

- 一、工場側ハ姓名ノ復職ヲ認め従業員側ハ姓名ノ解雇ヲ承認スルコト
- 但シ若復職者中姓名ハ坂國後直ケニ任意退職ヲ為シ他ノ姓名ハ工場側ヨリ放費ヲ支
給シ港通商坂國スルコト 坂國スル場合ノ放費亦之ヲ支給ス
- 二、工場側ハ解雇者及任意退職者ニ對シ規定ノ退職手当(退職者中十名者ハ定給トシ
該当スル等級半給トシ合計ノ格四日分)ノ外特別手当トシ計先者百四十名也
- 三、工場側ハ本問題解決ニ當リ金支給(金百拾名也)ヲ支給スルコト

昭和十年八月十四日

調停者

木内 嶺

正下 保

①

③
⑤
⑥

勞秘第一五四〇號

昭和十年八月三日

内務大臣 後藤 文 天 殿
社 會 局 長 官 殿

極東纖維素工業株式會社ノ労働紛議ニ関スル件

第一報——發生

要旨

本社事業不振ニヨリ經營困難ナリ七月十日休業ヲ發表スルニ従業員側ハ対策協議
結果休業中日給半額支給其他嘆願書ヲ提出抗爭中

事業休止ニ發端シ標記會社ニ労働紛議發生シタルが状況左記
ノ通

警視總監 小栗 一 雄

發生七二〇

使用労働者

爭議参加者

關係労働組合

10. 8. 14
146